



2026年2月13日

各 位

会社名 株式会社ニチリン
代表者名 代表取締役
社長執行役員 曽我浩之
(コード番号 5184 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役専務執行役員 難波宏成
TEL (079) 252-4151

新中期経営計画策定のお知らせ

— NICHIRIN Flow Engineering Challenge 2030 —

当社は、このたび2026年度からの新中期経営計画（2026年～2028年）を策定しましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 策定の背景および方針

当社グループは、前中期経営計画（NICHIRIN New Sustainable Development Plan [2021年～2025年]）に基づき、グループ経営基盤の強化と持続的成長に取り組んでまいりました。

最終年度となる2025年度は、北米の追加関税や地政学的リスクなどの外部環境の影響により、連結経営目標に対して当期純利益率以外は未達成となりましたが、国内外で積極的に事業拡大を進めてまいりました。特に、北米・アジア市場での収益力や供給対応力の強化、さらにサステナビリティやセキュリティ対策などを進めることで、次の成長に向けた重要な土台（組織対応力）を築けたと考えております。

[2025年の連結経営目標]

(単位：百万円)

	経営目標	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
売上高	75,000 以上	58,260	64,172	70,631	71,356	73,668
営業利益	9,500 以上	6,841	7,678	9,620	9,184	9,060
営業利益率	12.7% 以上	11.7%	12.0%	13.6%	12.9%	12.3%
当期純利益率	5.0% 以上	8.2%	7.1%	8.4%	8.7%	7.5%

今般、当社グループは、不確実性が高まる事業環境を成長機会と捉え、これまでに培った基盤の進化を基本に2030年にあるべき姿として新たな経営理念を設定し、2026年から2028年を計画年度として経営ビジョンと目標を掲げ、これを戦略レベルにブレークダウンした新中期経営計画（NICHIRIN Flow Engineering Challenge 2030）を策定しました。

新中期経営計画では、3つの経営戦略と4つの基盤戦略からなる「7つの全体戦略」を確実に遂行

し、グローバルな連携の強化と各市場の特性を活かした活動により、収益構造のさらなる強化と環境変動に左右されにくい経営体質の構築に取組んでまいります。

主要市場で加速するEV政策の見直しや中国メーカーの台頭、地域分断化などの環境変化が進む中、当社グループは地球環境への配慮と次世代モビリティへの対応を強化しております。具体的には、自動車分野では軽量化・熱マネジメント対応によるCO₂削減とコスト競争力強化を進めるとともに、住設・インフラなど非自動車領域の製品群を拡大することで、多様な価値を創出し、持続可能な企業集団をめざしてまいります。

2. 経営理念・経営ビジョン

新中期経営計画（NICHIRIN Flow Engineering Challenge 2030）では、ニチリンの強み、目指すべき姿を再認識し、新たな「経営理念」を制定し、経営ビジョン・行動指針も次のように定めております。



3. 成長のロードマップ



4. 7つの全体戦略（3つの経営戦略と4つの基盤戦略）



5. 経営数値目標（2026年～2028年）

新中期経営計画（NICHIRIN Flow Engineering Challenge 2030）では、2030年に目指すべき姿として、2030年の経営数値目標を設定した上で、2028年をマイルストーンとする2026年からの「連結経営目標」を次の通り設定しております。

〈連結経営目標〉

（単位：百万円）

	2026年	2028年	2030年
売上高	78,000	90,000	100,000以上
営業利益	9,300	10,000	11,000以上
ROE	10%以上		

※換算レート： USD=150 円

EUR=170 円

CNY= 20 円

※なお、本新中期経営計画の取り組みの詳細につきましては、2月24日開催予定のアナリスト向け説明会終了後、別途開示する予定であります。

以上